

令和8年度事業計画について

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。また、神戸市においては、「神戸2025ビジョン」やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されている。

当財団でも、これらのビジョン等を踏まえ、令和4年度から令和8年度を計画年度として策定した「中期経営計画2026」に基づいて、神戸市民の文化の活動の振興に資する事業を行っていく。

【主な事業内容】

(1) 第11回神戸国際フルートコンクール 第1位記念

ファビアン・ヨハネス・エッガー フルートルリサイタル

令和7年度に開催された、第11回神戸国際フルートコンクールの第1位入賞者のうちの1名である、ファビアン・ヨハネス・エッガーを招聘し、記念のリサイタルを行う。東京公演終了後には、群馬交響楽団の定期演奏会への客演(ソリスト)や、台湾でのリサイタル公演も行う。



(2) STILL LIFE -スティル・ライフ-

神戸文化ホールが創作協力し、ノルウェーで初演された森山未来出演ダンス公演『STILL LIFE -スティル・ライフ-』を招聘し、横浜赤レンガ倉庫1号館および静岡グランシップとの連携により3都市ツアーを実施する。



(3) 新・神戸文化ホール指定管理業務の獲得

令和8年度に迫った新・神戸文化ホールの指定管理者選定に向けて、令和7年度に設置した、新文化ホール受託準備室の体制を拡充・刷新する。

専任の担当課長等を配置し、開館記念事業を含む事業計画案の作成にかかる調査、優先予約を含む施設予約にかかるシステムや規則の整備、機運醸成施策の実施等を行う。

(4) 文化センター指定管理業務の獲得

令和8年度に迫った文化センターの指定管理者選定について、選定方法が公募・非公募にも関わらず確実に獲得できる基盤を構築する。

<公益目的事業>

文化ホール

1 文化ホール公演事業

(1) 事業方針

- 令和 10 (2028) 年度の新・神戸文化ホール開館を見据え、市民の誇りとなるような神戸発の創造発信事業や、先進的な取り組みを行っている優れた文化施設・芸術団体等と連携した作品群を展開 【創造発信・情報事業】
- 普及拠点として誰もが舞台芸術に触れる機会を提供するとともに、神戸の街や市民と交流する文化芸術ネットワークを形成 【普及啓発・交流事業】
- 全国の劇場や教育機関と連携して芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めていく 【育成・支援事業】

(2) 事業内容

① 創造発信・情報事業

森山未来出演ダンス公演『STILL LIFE -スティル・ライフ-』を開催するほか、KAAT 神奈川芸術劇場との連携により、1996 年ローレンス・オリヴィエ賞を受賞、2015 年トニー賞リバイバル作品賞を受賞したイギリス人の劇作家 デイヴィット・ヘアの 3 人芝居『スカイライト/Skylight』を上演。情報誌「ほーるめいと」は、チケット販促目的の発売情報誌を年 6 回、ホールのブランディングやオウンドメディアとしての機能に特化した機関誌を年 2 回発行し、神戸文化ホールからの情報発信の強化に努める。

② 普及啓発・交流事業

「こどもコブホ 2026」シリーズとして、全館を街に開くフェスティバル「神戸文化ホールウェルカムジャンボリー 2026」、彩の国埼玉芸術劇場との連携により舞台作品「おどる絵本 みえるとか みえないとか」を上演し、子ども・青少年が優れた舞台芸術に親しむ機会を提供するほか、開館翌年の 1974 年から続く市内小学生の招待公演「こころの劇場」(出演：劇団四季)を実施し、新たな観客を育成するとともに神戸の子どもたちの心の豊かさの涵養に貢献する。



③ 育成・支援事業

芸術文化の次世代の担い手を育成し、神戸における創造活動の持続可能性を高めるための取り組みとして、専門人材を講師に招く「アートマネジメント人材養成講座」を全 3 回のシリーズとして開講するとともに、神戸近郊の大学や専門職大学等の学生インターンを臨地実習として受け入れる。また、全国公立文化施設協会の舞台映像上映試行事業を誘致し、新たな観客との出会い作りに取り組むほか、映像表現に関するノウハウの蓄積などホールスタッフの機能向上にも努める。

(3) 文化ホール公演事業の情報発信強化【文化ホール事業課】

神戸文化ホールの情報発信機能として、情報誌「ほーるめいと」において、販促目的の発売情報誌を年6回、ブランディングに特化した機関誌を年2回発行する。またSNSを活用したメールマガジン、X（エックス）、Facebookでの発信や、ホームページ内容の充実など最新の動向を反映させながら機能向上を図る。

(4) 文化ホール事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
創造発信・情報事業				6,750
『STILL LIFE -スティル・ライフ-』	6/20～21	2	神戸文化ホール 中ホール	1,100
『STILL LIFE -スティル・ライフ-』ダンス・ワークショップ	調整中	1	DANCE BOX	30
貞松・浜田バレエ団「ジゼル」	10/4	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
貞松・浜田バレエ団「くるみ割り人形」	12/19～20	2	神戸文化ホール 大ホール	3,000
『スカイライト/Skylight』	2/6～7	2	神戸文化ホール 中ホール	1,100
『スカイライト/Skylight』戯曲ワークショップ	調整中	1	神戸文化ホール	20
情報誌「ほーるめいと」	発売情報誌：年6回発行 機関誌：年2回発行予定			
普及啓発・交流事業				19,980
劇団唐組 第77回公演「鉛の兵隊」	4/17～19	3	湊川公園 特設紅テント	600
こどもコブホ2026 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2026 連携イベント	4～5月頃	1	DANCE BOX	100
こどもコブホ2026 神戸文化ホール ウェルカムジャンボリー2026「コッペリア」他	5/30	2	神戸文化ホール 大ホール・中ホール 他	2,850
こどもコブホ2026 「みえるとか みえないとか」関連イベント ダンスワークショップ	8/15	1	神戸文化ホール リ ハーサル室	30
こどもコブホ2026 「みえるとか みえないとか」	8/16	1	神戸文化ホール 中ホール	600
第50回 東西落語名人選	9/12	2	神戸文化ホール 中ホール	1,200
和太鼓松村組 神戸公演2026	10/24	1	神戸文化ホール 大ホール	1,500
劇団四季こころの劇場 神戸公演	11/17～20	7	神戸文化ホール 大ホール	12,000
PRAY FROM KOBE ～明日につなげるコンサート～	1/17	1	神戸文化ホール 大ホール	500
第十九回 神戸能	3/20	1	神戸文化ホール 中ホール	600
育成・支援事業				184
アートマネジメント人材養成講座 アートマネジメント講座	調整中	3	中央区文化センター	150
アートマネジメント人材養成講座 連携大学インターンシップ	調整中	1	神戸文化ホール等	30
芸術文化観光専門職大学 臨地実務実習（劇場プロデュース実習）	夏季/冬季	1	神戸文化ホール等	4
神戸文化ホール事業合計				26,914
				15事業25公演11企画

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・神戸文化ホールにおける質の高い演奏の提供
- ・演奏水準のさらなる向上
- ・広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ・自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

(2) 事業内容

① 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

全国の自治体で唯一、ホール専属の神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団を保有・運営している強みを活かし、実力ある両団を核とした創造力あふれる企画発信や年齢や障がいを越えて子ども達が楽しむことができる「こどもコンサート」の実施など、普及啓発や社会包摂事業の充実をはかり、「音楽のまち神戸」のシティプロモーション、シビックプライドの醸成に資する。

② 教育普及に関する取り組み

●小学校インリーチ・アウトリーチ

次代を担う子ども達に対する音楽鑑賞機会の提供のため、市立小学校に通う児童を対象とした「インリーチ事業」「アウトリーチ事業」に取り組む。

<インリーチ事業>

公演概要：

「(仮) オンガクの実験室」

オーケストラ作品・合唱作品の鑑賞を中心に、子供達の参加コーナーを交えて構成。コンサートホールで本格的な生演奏に触れる体験を通じて、より深く音楽の楽しさ・喜び・芸術性を共有し、子供達の創造力を高めることを狙いとしたプログラム。神戸文化ホールへの来場ハードルがある学校を取りこぼさないため、神戸文化ホール公演に加え、文化センターでの公演を実施する(毎年1会場選定)。

日程・会場：

令和9年1月28日、29日 場所：神戸文化ホール（大ホール）

令和9年2月2日 場所：垂水区文化センター（レバンテホール）



<アウトリーチ事業>

市立特別支援学校に通う生徒に向けて、障害に関わらずリラックスした環境で身近に音楽を楽しめるよう、希望する学校へ演奏家が出向く出張演奏を実施する。

※令和8年度希望校募集中



●文化庁 舞台芸術等総合支援事業（学校巡回公演）への参加

（独法）日本芸術文化振興会の採択を受け、希望する国内の小中学校において、神戸市室内管弦楽団の出張演奏・ワークショップを実施する。（※令和8年初採択）

実施期間：ワークショップ 令和8年5月1日～令和9年1月29日

メインプログラム 令和8年6月1日～令和9年1月29日

対象エリア：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

訪問校数(予定)：19校

—文化庁 学校巡回公演について—

全国の小学校・中学校等においてトップレベルの文化芸術団体による巡回公演を行うことを通じて、将来を担うすべての子供たちの豊かな感性を育む場を作り、芸術鑑賞能力の向上を図るとともに、文化的な地域格差の解消を促進することを目的とした事業。

③ 楽団周知・魅力発信の取り組み

神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団の定期演奏会を1年間のセットで聴くことができる「定期会員制度」の募集、サービス内容を強化し、安定した固定客層の獲得を目指す。あわせて、文化センター（東灘区・中央区）と連携した定期演奏会事前レクチャーを開催する。

また引き続き、効果的な広告出稿、SNS発信の工夫、記者懇談会の開催などで効果的な広報を展開する。加えて、他施設・団体等からの公演依頼や企業支援の獲得等に積極的に取り組み、市内外問わずより幅広く認知され、愛される団の運営を目指す。

(3) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧(神戸文化ホール関連)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
神戸市室内管弦楽団	第172回定期演奏会 「イタリア紀行」	5/16	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	第173回定期演奏会 「からみあう情熱」	6/20	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	第174回定期演奏会 「歌劇『スザンナの秘密』」	8/1	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	第175回 「彼方へ響きわたる調べ」	11/7	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	第176回定期演奏会 「秀美のベートーヴェン I 開幕」	2/6	1	神戸文化ホール 大ホール	650
神戸市混声合唱団	合唱コンクール 課題曲コンサート	5/23	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	秋の定期演奏会 「濱田芳通と奏でる≪モンセラートの朱い本≫」	9/19	1	神戸文化ホール 中ホール	650
	春の定期演奏会 「アイガットリズム! アメリカンオペラの夢」	3/13	1	神戸文化ホール 大ホール	650
合同	こどもコンサート	7/18	1	神戸文化ホール 大ホール	650
	合同定期演奏会 「ファウストの劫罰」	12/5	1	神戸文化ホール 大ホール	800
自主公演合計					6,650

【主な依頼公演】

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
合同	文化ホールインリーチ事業	1/28, 29	4	神戸文化ホール 大ホール	4,000
合同	文化センターインリーチ事業	2/2	2	垂水区文化センター レバンテホール	1,000
合同	特別支援学校アウトリーチ	調整中	調整中	調整中	700
合同	文化庁 舞台芸術等総合支援事業 (学校巡回公演)	5/1~1/29	調整中	調整中	調整中
合同	ろうきんコンサート	10/17, 18	2	神戸文化ホール 中ホール YBファブ やぶ市民交流広場 ホール	1,000
依頼公演合計					6,700

3 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ・地元アーティスト・団体の芸術文化活動を支援し、神戸文化の創造・発展に努める
- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み
- ・次世代の芸術文化の担い手や支え手の育成

(2) 事業内容

① ジャズ文化による神戸ブランドの創造発信

神戸に根付いたジャズ文化の継承と発展を図るため、観光・商業・報道等の民間事業者や関係機関、行政との連携のもと、「ジャズの街神戸」推進協議会の取組を通じた総合的な推進を行う。

令和8年度においては、神戸市の新たな方針のもと、次世代育成を重点方針と位置付け、神戸ユースジャズオーケストラの運営を中核に据え、若手演奏者の育成機会の充実と発表機会の創出を図るとともに、将来の担い手の裾野拡大に取り組む。

あわせて、『神戸ジャズの日』関連事業や公式ウェブサイト「JAZZ TOWN KOBE」等を通じ、神戸のジャズに関する情報の集約と発信機能を強化し、市内外に向けた戦略的なプロモーションを推進する。

さらに、神戸を代表するジャズ関連事業である神戸ジャズストリートや JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL 等との連携・支援を通じ、神戸のジャズ文化全体の基盤強化と発信力向上を図るとともに、地域に根差した文化資源としての価値を高めていく。



〔JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL〕

② 情報収集・提供の充実

地元のアーティストおよび文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」を設置し、文化芸術活動に関する各種相談（資金調達、活動拠点、広報等）に対し、専門家等と連携した情報提供および助言を行う。

③ 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会の充実を図るため、「神戸市吹奏楽祭」、「シャンソン・ポピュラーコンクール」、「神戸三曲協会演奏会」等の事業を引き続き実施する。



〔神戸市吹奏楽祭〕

④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤を担う地元芸術文化団体の活動を引き続き支援するとともに、「ランチタイム・ワンコインコンサート」をはじめ、令和6年度に連携協定を締結した神戸芸術文化会議との協働を一層推進する。

また、「神戸市吹奏楽祭」や「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等の取組を通じて、次代の神戸文化を担う若手人材の育成および発表機会の創出を支援し、地域文化の持続的発展に取り組む。



〔ランチタイム・ワンコインコンサート〕

⑤ KOBE まちなかパフォーマンスの運営・推進

神戸市が令和6年度より開始した「KOBE まちなかパフォーマンス」について、事務局機能を担い、アーティストの活動機会の拡充および市民が身近に文化芸術・エンターテインメントに触れる機会の創出を図るとともに、神戸のまちなかのにぎわいと都市魅力の向上に寄与する。

さらに、事業の持続性の観点から運営システムの改善を検討し、アーティスト、会場管理者、事務局のすべてにとって利用しやすく効率的な運用環境の構築を目指す。

(3) 文化振興事業一覧(神戸文化ホール関連)

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
神劇まわり舞台	4月～3月	市内小劇場	1,200
こうべ文化芸術相談窓口 (アーティストからの相談対応)	通年	メールまたはオンライン	—
KOBEまちなかパフォーマンス運営事務局業務	通年	神戸市内各所	—
神戸ユースジャズオーケストラの運営 (「ジャズの街神戸」推進事業)	通年	100BANホール、ジー ベックホールなど	20,000
KOBEJAZZDAY2026 旧居留地コンサート (「ジャズの街神戸」推進事業)	4/5	旧居留地三井住友銀行 神戸営業部前	1,200
神戸市吹奏楽祭	4/29, 11/3	神戸文化ホール 大ホール	8,000
こうべ全国洋舞コンクール	5/3～5/5	神戸文化ホール 大・中ホール	2,000
神戸三曲協会演奏会	6/14	神戸文化ホール 中ホール	515
神戸フィルハーモニック定期演奏会	6/7, 11/29	神戸文化ホール 大ホールなど	1,000
神戸ジャズ道場	7/30, 31	神戸セミナーハウス	100
兵庫県吹奏楽コンクール神戸地区大会 兵庫県小学生バンドフェスティバル	7/26～28	神戸文化ホール 大・中ホール	10,000
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/21～23	神戸文化ホール 大ホール	2,854
神戸ジャズストリート	10/10・11	北野町界限10か所程度	1,900
神戸音楽家協会・神戸からのしらべ	11/8	神戸文化ホール 中ホール	450
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール (ファイナル)	12/6	神戸文化ホール 中ホール	250
神戸フィルハーモニックニューイヤーコンサート	1/10	神戸文化ホール 大ホール	500
神戸三曲協会独奏会	3/28	うはらホール	200
文化振興事業合計			50,169

(4) 神戸芸術文化会議連携事業一覧

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
ランチタイム・ワンコインコンサート				
番外編 こども邦楽コンサート 出演、監修：神戸三曲協会	5/30	1	神戸文化ホール 中ホール	500
第7回 出演：菊地 葉子 (ピアノ) & 北浦 洋子 (ヴァイオリン) と その仲間たち	7/7	1		600
第8回 出演：釈迦郡 洋介 (ピアノ)、大前香菜子 (ピアノ)	10/27	1		600
第9回 出演：坂本 彩 (ピアノ)	1/14	1		600
神戸芸術文化会議連携事業合計		1事業4公演		2,300

4 フルートコンクール事業

(1) 事業方針

- ・世界の有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させる
- ・音楽を通じて国際交流と友好親善を図る
- ・「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進する

(2) 事業内容

① 神戸国際フルートコンクール関連事業の開催と第12回大会へ向けての準備

令和6・7年度に関連事業として実施した社会包摂事業(音楽交流プログラム)の発展企画を実施する。

令和8年度については、より文化・芸術へのアクセスが困難な方々へ音楽を届け、そして音楽を通じて交流することを目的とし、音楽療法の側面をより重視した内容とする。重度認知症の方やダウン症児へのアプローチを予定しており、音楽療法士、言語聴覚士などの専門家による音楽家への事前の指導もプログラムに取り入れる。

また、新文化ホールでの開催となる第12回大会へ向けて、運営委員会の前段階である準備委員会による会議の開催など準備も進めてゆく。



(3) 神戸国際フルートコンクール事業一覧

事業名	開催時期	回数	開催場所	入場者数
第11回神戸国際フルートコンクール第1位記念 ファビアン・ヨハネス・エッガー フルートルサイタル	10/18, 19	2	神戸文化ホール中ホール/浜離宮朝日ホール	700
名称未定※上記リサイタル関連企画まちなかコンサート	調整中	2	調整中(神戸市内のまちなか)	140
ファビアン・ヨハネス・エッガー 外部出演関連 ※主催は開催地の音楽事業会社やオーケストラ、劇場等	10/24~11/2	5	高崎芸術劇場、すみだトリフォニーホール、台湾他	-
社会包摂企画 フルーティストによる音楽交流プログラム～事前講習(3講座)・現地実施(4回)	調整中	7	こべっこランド(神戸市立児童福祉センター)他	40
		16	事業合計	880

5 情報発信

(1) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の情報発信強化

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団について、専門知識を活かし、動画配信を含む、SNS を活用した積極的な情報発信、マスコミとの関係構築による記事化・放送化に引き続き取り組む。また、両団ホームページの抜本的改修に向けた検討など、現在取り組み中の戦略的広報を更に進める。

(2) インターネットによる情報発信

X (エックス) や Facebook、Instagram など多様な SNS を活用した情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

加えて、地元アーティストおよび文化芸術関係者を対象に、ウェブサイトから気軽に相談できる「こうべ文化芸術相談窓口」について、引き続き周知および利用促進を図る。

(3) 「神戸 C 情報」の発信

神戸を中心とした文化芸術イベント情報をウェブサイトや SNS で広く発信。相談窓口やアーティスト支援事業と連携し、文化芸術に関する情報プラットフォーム形成を目指す。

(4) 文化ホール公演事業の情報発信強化

情報誌「ほーるめいと」において、販促目的の発売情報誌を年 6 回、ブランディングに特化した機関誌を年 2 回発行する。また SNS を活用したメールマガジン、X (エックス)、Facebook での発信や、ホームページ内容の充実など最新の動向を反映させながら機能向上を図る。

6 神戸文化ホール貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ・施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ・地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ・基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

(2) 事業内容

① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。
また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケート等でいただいたご意見・ご要望をもとに改善に努める。

③ 地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。メールでの事前受付により遠方からの利用を促進する。

④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。

また、キャッシュレス決済や、ホールでのインターネット環境を整備、スマートゲートの導入により利便性の高いサービスを提供する。

新開地アートひろば

1 新開地アートひろば事業

(1) 事業方針

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い世代が集う地域にひらかれた文化活動拠点の形成
- ・継続的なアーティストの育成・支援と発表機会の創出
- ・市内外文化施設・教育機関とのネットワーク強化による文化的波及効果の拡大
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による継続的改善と人材育成

(2) 事業内容

① 創造発信・地域活性化・施設活用事業

アーティストとの協働による創造的プログラムを通年で実施し、幅広い世代を対象とした鑑賞・参加型事業を展開する。

てててパークを活用した継続型ワークショップやスタッフ企画事業を実施し、日常的に人が集う文化活動拠点の形成を目指す。

事業名：「ニューあそび場の創造」「アイデアひろば」「月イチ〇〇とあそぼ！」

- ・文化芸術を軸とした地域の活性化と賑わいづくり
- ・子育て世代をはじめ、幅広い世代が集う地域にひらかれた文化活動拠点の形成
- ・継続的なアーティストの育成・支援と発表機会の創出
- ・市内外文化施設・教育機関とのネットワーク強化による文化的波及効果の拡大
- ・実施事業の評価・リサーチ・研修による継続的改善と人材育成



ニューあそび場の創造 vol. 14
「今、何かを着ているみなさんへ」



ニューあそび場の創造 vol. 17
「新開地アートブックプロジェクト 2003-2025」

② アーティスト育成・支援事業

次代を担う若手芸術家を対象とした育成プログラムの実施及び、創作活動や成果発表の機会を提供する。

伴走型支援や外部専門家との連携を通じて、長期的なアーティスト支援の仕組みづくりを行う。

事業名：「Go!Go! High School Project」、 「アーティストサポートプログラム」

③ プログラム連携・ネットワーク構築事業

市内文化施設（KIITO、C.A.P、ファッション美術館等）との共同企画や相互連携プログラムを実施し、市内文化資源の循環と交流促進を図る。

また、教育機関との連携(トライやる・ウィーク等)を通じ、次世代育成に取り組む。
事業名：「Marching KOBE」「ミュージアムリンク」「各種提携・共催事業（未定）」

④ その他

神戸市及び新開地まちづくり NPO 等の地域イベントと連携・協力し、文化芸術を通じた地域活性化に寄与する。

また、当館事業から誕生した「新開地舞踊歌劇団」の活動支援を継続し、地域文化の発信力向上を図る。

事業名：「新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト」「新開地土曜マルシェ」
「新開地夏・冬まつり」

(3) 新開地アートひろば事業一覧

日付	事業名	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
7~9月	ニューあそび場の創造「夏のふしぎひろば」		
	展示・公演・ワークショップ	ホール・ギャラリー	3,500
7月・8月	Go!Go!High schoolProject2026		
	ワークショップ・発表公演	ホール・リハーサル室	200
1~2月	ニューあそび場の創造「建築と舞台芸術（仮）」		
	オープニングアクト・本公演	ホール他	500
通年	ひろばのアイデアひろば		
	サロン・トークショー	1room他	200
		合計	4,400

日付	事業名	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
	てててパーク 月イチ企画		
毎月	ワークショップ	てててパーク	100
	新開地土曜マルシェ・新開地夏・冬まつり		
6月・12月	新開地夏・冬まつり	1room	500
毎月第2土曜日	新開地土曜マルシェ	1room	5,000
	提携・共催・協力・その他事業		
5月	新開地ジャズヴォーカルクィーンコンテスト	ホール	200
6月	エクステ	ホール	200
12月	Sandy	ギャラリー	200
		合計	6,200
		合計	10,600

2 新開地アートひろば貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ・市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ・利便性の向上と芸術文化活動への協力

(2) 事業内容

① 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

「練習施設」と「発表施設」の用途に即したサポート体制を整え、利用者のニーズに応えることで、また利用したいと思える安心感・快適性を提供する。また、幼児向けスペースや1階オープンエリアでは、職員が駆け付け可能な体制の整備により、安全性の確保を行う。

② 市民の芸術文化活動の促進・誘致

シルクスクリーン工房では工房専門担当者を配置し、利用者サポートができる安定した工房運営を維持するとともに、引き続き利用率向上促進を行う。また、1階スペースの賑わいを施設全体の知名度向上に結び付け、新規利用客の獲得に取り組む。

③ 利便性の向上と芸術文化活動への協力

来館者向け Free Wi-Fi の提供やキャッシュレス決済の導入により、施設利用の利便性を向上させる。また、職員が1階に常駐することによる利便性の確保と、文化芸術関連の情報発信のスペースの整備により、市民の芸術文化活動の後押しと拡がりに貢献する。

各区文化センター

1 文化センター講座・地域関連事業

(1) 事業方針

- ・「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応、講座事業や地域関連事業の実施
- ・子育て世代、子ども対象に参加しやすい料金設定でのイベント、講座の増加
- ・伝統文化の継承、発展に伴う事業の増加
- ・文化センター・神戸文化ホールが連携した事業を推進

(2) 事業内容

① 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、新規に学びたい方にも試みやすい3ヶ月単位の期間（春季・夏季・秋季・冬季）で開催する。神戸市内の他大手カルチャースクールが事業撤退・縮小していく昨今の状況下でも、着実に講座事業を継続し文化活動を楽しんでいただけるよう引き続き運営していく。

② 地域関連事業

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、書の芸術祭、こども農村歌舞伎、須磨琴等、地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。
従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演等、色彩豊かな事業展開を行っていく。



〔書の芸術祭〕

③ 文化ホールと連携した文化センター事業

令和7年度に10回開催を迎えた「市民の第九」において、令和8年度も引き続き、市民を対象に公募した260名の合唱団員が各文化センターでレッスンを積み、文化ホール大ホールの舞台にて成果を披露する。



〔市民の第九〕

(3) 文化センター事業一覧

(単位：人)

事業名	開催場所	回数	入場者数
文化センター共通事業	神戸文化ホール	1	1,200
	東灘区文化センター	13	3,790
各センター事業数	灘区文化センター	4	1,450
	中央区文化センター	4	400
	兵庫区文化センター	3	300
	北区文化センター	3	500
	北神区文化センター	12	2,700
	長田区文化センター	10	2,380
	須磨区文化センター	17	3,600
	北須磨文化センター	5	1,000
	垂水区文化センター	8	3,450
	西区文化センター	25	7,950
	合計	105	28,720

2 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

(1) 事業方針

- ・各区文化センターにおける質の高い演奏の提供

(2) 事業内容

各区文化センターにおいて、神戸市室内管弦楽団による、安価な料金で休憩なし 60 分以内の企画を継続する。公演後にはトークなどの交流プログラムを実施するほか、定期演奏会で取り上げないような作品、出演者の組み合わせを積極的に試み、市民に新しい音楽体験を届ける。

(3) 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団事業一覧(文化センター関連)

事業名		開催時期	公演数	開催場所	来場見込
室内	セレクション Vol.9 「ヴィヴァルディ《四季》」	9/26	1	神戸朝日ホール	450
	セレクションVol.10 「知樹vs聡 メンデルスゾーンと ベートーヴェン」	2/27, 28	1	西神中央ホール 神戸市立東灘区文化センター うはらホール	800
混声	ファミリーコンサート	4/29	1	中央区文化センター	100
	あなたに贈るコンサート	1/17	1	長田区文化センター別館 ピフレホール	400
		2/14	1	東灘区文化センター うはらホール	400
自主公演合計					2,150

3 文化振興事業

(1) 事業方針

- ・市民のくらしに芸術文化を根づかせる取り組み

(2) 事業内容

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「シャンソン・ポピュレールコンクール(神戸大会)」、神戸芸術相談窓口関連企画等を企画していく。

市の「コベカツ」事業について、芸術文化分野での活動について引き続き協力する。

(3) 文化振興事業一覧(文化センター関連)

(単位：人)

事業名	開催時期	開催場所	入場者数
こうべ文化芸術相談窓口 センター関連企画 (勉強会・交流会等)	未定	各文化センター	50
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール (神戸大会)	9/26	長田区文化センター別館 ピフレホール	100
神戸三曲協会独奏会	3/28	東灘区文化センター うはらホール	200
文化振興事業合計			350

4 情報発信

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともに SNS を積極的に活用していく。

5 文化センター貸館・管理事業

(1) 事業方針

- ・長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供
- ・市立の貸館施設として、公的機関及び団体に研修・会合・健診等の誘致活動を実施
- ・財団が運営する定例講座とは別に、利用率の低い貸室を市民の「教えたい」ニーズ対応として貸館利用で講師が、一定期間講座を開設することで、市民の「学びたい」ニーズにも応え、利用率改善にもつなげる
- ・多くの市有施設を一体管理する貸館システム「あじさいネット」を引き続き活用し、利用者の利便性の向上につなげていく。

(2) 事業内容

① サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入、市有施設利用申し込み一体管理システム（あじさいネット）導入など

② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

③ 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、ホームページの活用
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

<収益事業>

(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。

※施設概要	大ホール	: 2043 席
	中ホール	: 904 席
	リハーサル室	: 150 名
	練習室 1~5	: 15 名~150 名
	多目的室・特別控室	
	自動販売機	: 7 台

(2) 新開地アートひろば貸館・管理事業

子育て世代をはじめ、幅広い人々が集う地域に開かれた施設を目指す。特に1階は、子ども向けスペースや、飲食店舗「はっちゃんの台所」など、充実したオープンスペースにより、利用者が気軽に立ち寄り、集いやすいスペースとしての運営を図ることで、来館人数と知名度の向上を目指し、収益に繋げる。

※施設概要	多目的ホール	: 232 席
	ギャラリー	: 129 m ²
	リハーサル室 1~2	: 120 m ² ~189 m ²
	会議室 1~2、シルクスクリーン工房、スタジオ 1~3、1room 等	
	てててパーク	: 88 m ²
	自動販売機	: 2 台

(3) 文化センター講座

スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催。

※例 講座：健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、水泳など
自主事業：コミュニティフェスティバル、卓球大会など

(4) 文化センター貸館・管理事業

イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等、文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要	大ホール、体育施設、プール	
	会議室、多目的室	
	和室・音楽室・美術室・陶芸室等	
	自動販売機	: 33 台
	駐車場（北神区文化センター）	: 123 台

＜法人管理運営事業＞

（１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的
に開催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和３年度から、経験豊富な人材を積極的に登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「神戸六甲ミーツ・アート」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を引き続き実施する。

（２）経営の安定化

事業部毎の独立採算・セグメント会計の観点から、経費の見直し、ICTの活用による業務の効率化などを進めるとともに、公益性の高い事業に対し国等からの外部助成金の積極的な獲得を行う。

平成30年7月に地元経済界が立ち上げた「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を担うことで、経済界からの芸術文化事業への支援を促進する。

（３）次期中期経営計画の策定

令和8年度をもって現在の中期経営計画が終了するため、神戸市外郭団体経営改革方針、指定管理業務選定状況等を踏まえて策定する。